令和 8 年 11 月

令和 7 年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

| | |
|---|---|
| 園　名 | 社会福祉法人ねりま共育ちの会<br>どんぐり山保育園 |
| 所在地 | 東京都練馬区春日町 4-1-13 |

**１．活動のテーマ**

**【テーマ】**

畑から食卓へ ～育てる・知る・味わう～／　4 歳「うみ組」

**【実施時期】**

2025 年 4 月 – 10 月

**【テーマの設定理由】**

通年を通して、畑での作物の栽培や収穫、調理保育などを通じて、子どもたちが食材に触れ、育ちや変化に関心を持ちながら、食への興味を広げていく。

**２．活動スケジュール**

午前中から午後にかけて活動

**３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定**

・栽培・収穫　　：園庭で育てたきゅうり、収穫用のハサミ
・調理の素材　　：収穫したきゅうり、塩昆布、ポン酢
・調理に使う道具：包丁、ジップロック
・活動環境　　：子どもたちが収穫や調理に参加し、食材に触れながら調理の過程を体験できる環境

**４．探究活動の実績**

**【活動の内容】**

子どもたちが育ててきたきゅうりの収穫を行った。前日に収穫について話していたことを覚えており、楽しみにしながら園庭へ向かった。水やり当番の子どもたちがハサミできゅうりを収穫し、みんなで給食室へ届けた。

昼食前には、収穫したきゅうりを使った調理活動を行った。保育者が切ったきゅうりをジップロックに入れ、子どもたちが袋を振りながら「おいしくなぁれ」と声をかけ、塩昆布和えを作った。また、別の活動では、ポン酢味と塩昆布味の 2 種類を作り、味の違いを楽しみながら食べた。できあがったきゅうりは子どもたちに好評で、あっという間になくな

るほどだった。
自分たちで育てたきゅうりを収穫するだけでなく、調理の過程にも参加することで、野菜が食べ物になるまでの流れを体験した。収穫した野菜の手触りや味わいを楽しみながら、身近な食材への興味や関心を深める活動となった。

**【活動の様子】**



**【振り返り】**
大収穫であったきゅうりを、子ども達といろいろな形で調理をし食べる経験をすることができた。他クラスにも分けてあげようということを子どもたちと話し合い、実際に食べてもらい『おいしかった』『ありがとう』と言われることに、嬉しい気持ちや誇らしい気持ちを感じている姿もあった。また、家庭でも保育園での経験を伝え、実際に家でも作ってみたなどといった声が聞こえていた。冬野菜は、獣？（ハクビシン？）にほとんどが食べられてしまい残念な結果にもなったが、どうしたら食べられないか？など、子どもと話し合う機会も作ることに繋がった。お当番活動の中で、水やりなどの世話を行っていくこともできた。